

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月19日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4271200679		
法人名	特定非営利活動法人 ハッピーネス福祉会		
事業所名	グループホーム琴の海		
所在地	〒859-3808 長崎県東彼杵郡東彼杵町蔵本郷884-1		
自己評価作成日	平成22年1月19日	評価結果市町受理日	平成22年4月15日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4271200679&SCD=320
--------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号
訪問調査日	平成22年1月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

静かな環境の中に木造平屋造りで近所の方などが来やすい場所にあり、近所の方との交流が円滑に行われている。室内は杉の木を使って落ち着いた感じで、清潔感がある。リビングからみかん畑や中庭の花を見ることができ、季節感を味わえるように配慮している。家族の方や近所の方が気軽に来て頂けるように花など飾り、玄関など明るくしている。スタッフは笑顔で優しく皆様に接している。日々、皆様の健康維持に努め、毎日楽しく過ごして頂けるように心掛けている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

「共に喜び、共に悲しむ」という理念の実現を目指して、日々のケアに取り組まれています。入居者の重度化に伴い、職員が入居者のケアに集中でき、また地域の人にグループホームの取り組み内容を知ってもらえるよう、清掃係として積極的に地域の人を雇用されています。職員間のコミュニケーションは良好で、ホーム長は家族や職員の意見に柔軟に対応されています。ホームでの入居者の看取り（みとり）を経験をされ、職員自身が「難しいことだが、入居者の最期の思いを叶えてあげたい」と積極的に取り組まれています。

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「共に喜び、共に悲しむ」の理念を共有し、実践している。	理念はケアを行っていく中で変更され、常に職員間で意識されています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	敬老会、クリスマス会、誕生会などを通して、地域の方と交流を行っている。また、野菜の差し入れやまんじゅうなどの作られたものを差し入れてくださることがある。中学校の生徒との異世代交流も行っている。	車椅子の利用の方も含め、敬老会やふれあい祭りに参加され、交流が行われています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	イベントや火災時の避難訓練などを通して、ホームのあり方や認知症の方への支援方法などを理解して頂けるように努めている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの現状を話すことで、運営介護委員の方から貴重な意見を頂くことで、サービス向上に繋がっている。	今年度は1回のみの開催ですが、議事録からは活発な意見交換がなされていることが確認できます。	2ヶ月に1回の開催を実現されるよう今後の取り組みについて期待します。また、参加者については、入居者を加えられることが求められます。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	包括支援センターや福祉課の方と連絡を取り、協力関係を築いている。	町の担当者とは、諸手続等で役場を訪問した際に、情報交換が行われています。	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者の方の人権を守り、身体拘束しない方針でサービスを行っている。玄関は施錠しない。緊急やむを得ない身体拘束が必要な場合は、家族への説明、同意を得ている。</p>	<p>身体拘束は行わない方針でケアが行われていますが、やむを得ない場合は、家族の同意を取り、必要性について随時職員間で話し合われています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>利用者の方からスタッフがつけねられたりする事があるが、スタッフは感情的にならず、自己防衛しながら対処している。利用者のその時の状況を理解しようとする事で、人間関係も悪化しないで済んでいる。</p>	/	/
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>カンファレンスや勉強会をしている。成年後見制度を利用されている方が1名おられる。成年後見人の方との連携を通して、本人がよりよく生活されるような協力関係がある。</p>	/	/
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、または、法改正時の際は家族の方に説明をし、了解して頂けるように努めている。</p>	/	/
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>誕生会など家族の方の都合等を聞き、日程や内容を決めている。また、行事にたくさんの方の参加していただきたい時は、スタッフや参加者の意見を聞き行っている。</p>	<p>家族会が設置されており、食事の際の汚れに配慮してほしいとの意見から、食事時間を職員の多い時間帯へ変更された事例等が聴取できました。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>相談や意見を言えるような関係作りを心掛けている。利用者の身体状況が落ち、介護力をもっと必要などの意見があれば、勤務内容を検討しスタッフの負担減に勤めるようにしている。</p>	<p>ホーム長は日頃から職員の意見に耳を傾けられています。コミュニケーションも良好で、勤務体制や備品の購入等、意見を言いやすい関係が築かれています。</p>	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>勤務年数や経験を活かした役割を持って仕事してもらっている。給与は毎年少しずつ昇給している。経験年数から資格修得を目標にスタッフ同志で学んでいる。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>経験年数や能力を考え、施設外の研修を受けてもらっている。また、施設では月1回学習会を開き、スタッフは一人ずつテーマを決め、講義や演習など行なっている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>同業者との交流会では他のホームでの介護サービスなどを見せて頂き、意見交換など行っている。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>優しく声をかけ、困っていることはないか、不安などはないか聞くようにしている。また、本人の行動から助けがほしいのか確認、支援する。カンファレンスで本人を理解すると共に、その人に合った援助方法を検討、実践する。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の方の話をよく聞くようにしている。家庭でどのように工夫されていたのか、大切な家族が認知症が発症されてからの気持や、ホームへの希望があらわれるのか聞くようにしている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所時の本人の状況を観察し、家族からの情報を踏まえてサービスを行う。また、本人との関わりのなかで本人ができること、できないことなどカンファレンスで話し合い、アセスメント、ケアプランを作成し実践している。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員、本人、共に人として尊重し合えるように日々努めています。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人にとって家族はかけがえない存在であり、いつも傍にいてほしいと思っておられると考え、誕生日を家族と共に祝うことにしている。家族にとっても誕生日会は家族の絆を深める機会となっております。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの理髪店や美容室から来て頂いている。また、月に1～2回、利用者の友人の方が季節折々の花を活けて下さるので、気持ちよさを味わっている。花が好きの方は見たり活けたりされる。	元々近所に住まわれていた入居者が多いため、旧友や家族の来訪も多いようです。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他の人がされることが気になり、そのことをはっきり言われることが原因で気分を害されることがある。雰囲気などを見て、お互いの距離を保つなど配慮している。また、ひとりの時は孤立しないように傍にいます。		
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族と時々連絡を取りながら、現在の状況などを尋ねている。また、必要時相談に応じている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の口癖や願いなど本人の状態を把握している。願いを家族に伝え、実現できるように働きかけている。全て叶う訳ではないが、家族も検討され叶えられることもある。	言葉での表現に限らず、思いを汲み取るように心掛けられています。帰省や親族との面会等の希望が実現されています。	

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用者のそばに寄り添い、向き合って話を聞き、共感に努めている。また、記録を通してスタッフ間で情報の共有をしている。</p>			
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>本人に合った運動やレクリエーション、作業等を取り入れ、また、昔の話を聞きながら、現状の把握に努めている。</p>			
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族、医療機関の意見などを合わせてカンファレンスで話し合い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画はホーム長により案が作成され、カンファレンス時に話し合われています。また期間内で些細な変更を行う際は随時計画に追記され、職員間で共有されています。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>スタッフは日々の様子を介護記録に記入している。状態の変化があれば早めにスタッフ間で検討をしている。必要があればカンファレンスをし、家族に伝える。介護計画の変更等は介護計画に記入している。</p>			
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>経口摂取が困難な状況が生じ入院をされたが、家族の希望があれば、経管栄養の状態でも受け入れている。また、看取りも行っている。</p>			
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域での敬老会、夏の浮立などに参加させて頂く事がある。</p>			

30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族の希望を聞き、担当医を決めている。医師の判断から入院の必要性があれば、スムーズに行くように協力する。本人の状態により週1回又は月1回の往診をして頂いている。歯科医の往診も受けることがある。</p>	<p>かかりつけ医の往診が定期的に行われていきます。家族への結果報告については、月次報告書にて毎月行われています。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師はスタッフからの情報、観察等により本人の健康管理を行っている。状態観察により主治医の診察が必要な時は病院受診し、治療を受けて頂いている。</p>	/	/
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>本人の入院が必要となった場合は家族と連絡し医師の状態説明を聞いて頂く。入院の準備はホームで行い、入院生活に支障がないように配慮している。ホームでの本人の状況を病院関係者に説明し、本人および病院関係者が困らないように説明している。</p>	/	/
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>日頃から家族の方と終末期について話をしている。家族の希望を受け、ホームで看取りを行うことがあるが、看取りは家族の方の協力なしでは行えないので、一緒に行うことで可能である旨を説明している。</p>	<p>現在2例目の看取り（みとり）を行われています。医療機関や家族との連携の重要性を認識し、話し合いの機会をもたれています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変がある時はホーム長に連絡し、利用者を安全・安楽な体位にし、初期対応をすることになっている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災を想定して避難訓練を行い、地域の方々にも協力して頂いている。</p>	<p>夜間想定を含めた訓練が定期的に行われています。また、備蓄や備品の準備も行われており様々な災害に対応できるよう努められています。</p>	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊敬を持って、言葉掛けや対応を行っている。 職員は日頃より入居者の人格を尊重し、家族が不快に感じられない接し方を心掛けられています。気づきのある場合はホーム長より随時指導され、意識をもった行動を心掛けられています。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	表情や態度などを見ながら、声掛けなど行っている。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでの決まり事を優先するのではなく、ひとり一人のペースを大切に過ごして頂いている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型、服の色などその方に合った服を着て頂く。また、髪なども本人や家族の希望を聞き整容にしている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士は栄養バランス、季節のこと、老人の好み、本人の好みを考慮し献立を作成している。また、ひとり一人の咀嚼や歯の状態を考え、食べやすい形態にして沢山摂取して頂くように努めている。 献立は栄養士により作成され、彩りよく盛り付けられています。下ごしらえや食器拭き等入居者も関わられています。また、近所の人が持ってこられた野菜等が食卓にのぼることもあるとのことです。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重や病気のこと、食欲や一般状態を観て、食べる量など考えて支援している。

42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行っている。</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄のパターンを把握し、トイレ誘導している。また、必要な方には夜間居室においても排泄時間帯を考慮し、誘導している。</p>	<p>個別に排泄のパターンが把握され、排泄の自立に向けた取り組みが行われています。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食物繊維の豊富な食べ物や腸蠕動を促す食べ物を、毎日の献立の中に入れて込んでいる。運動不足による便秘が多いので室内歩行、室外の散歩を取り入れている。</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>予定を立て入浴して頂いているが、本人の希望で入りたくない等の場合は、変更している。湯かげんなどは気持ち良く入れる要件なので順番も考慮している。ゆっくり本人のペースや様子を観ながら進めるようにしている。</p>	<p>毎日入浴可能とされており、希望に応じた入浴することが行われています。また、飲んでも人体に害がなく、汚れが落ちやすく、保湿効果のある入浴剤を使用されています。</p>	
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>食事後は特に眠くなれる方が多いので、居室やソファで休んで頂いている。また、テレビを見て過ごされる方には、座り心地、安楽を配慮している。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>殆どの方が薬を服用されている。何故その薬を服用されているのか、薬の目的、作用、副作用など把握し服薬支援を行っている。</p>		

48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとり、できられる事を活かしたお手伝いをして頂いている。本人の好みで新聞や本・雑誌を見ておられる。ホーム書棚にも本・雑誌を備えている。気分転換にホーム周辺の散歩に行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気の良い日には、本人の希望を聞き散歩している。家族も来られた時に、時折ドライブ、見学に連れていかれている。</p>	<p>車椅子の方も含め気候の良い季節は近所への散歩へ出かけています。また、GPS機能付の器具を準備されており、1人での外出も可能です。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の能力に応じて、お金を持って頂いている。殆ど使われることはないが、お金がないと不安に思われることがある。お祭りや外出などの時は、一緒に買い物を楽しんで頂く。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族からの電話に出ることができられる方には、お話をさせて頂いている。年賀状等には文面以外の名前を書いて頂き、出している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングでは懐かしい童謡などを流し、季節の花や手作りのカレンダー等で季節感を取り入れ、工夫をしている。</p>	<p>共用空間は日当たりが良く、季節を感じる事ができます。また、入居者の写真により親しみが持てる空間作りにも配慮されています。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食卓の位置は、仲の良い方、悪い方など配慮して決めをしている。話がかみ合わない方同士でも、居心地の良い関係があるので、配慮している。</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた衣類、布団類を持って来て頂いている。仏様など貴重な物を持って来られ、お供えをされていた方もある。居室には誕生会の時の写真を貼り、明るい雰囲気になっている。	持ち込み品には、特に制限を設けておられず、テレビやラジオ、鉢植え等の持ち込みが確認できます。換気や掃除等、清潔な空間の保持に努められています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの状態を考え、椅子やベッドの種類を変えている。また、夜間のトイレが困らないようにポータルトイレなど利用して頂いている。夜間の転倒転落が気になる方にはベッド下にマットレス等を敷き、予防に努めている。		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)			1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまにある 4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない